

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	05 市民スポーツ活動の充実							
基本事業	99 施策の総合推進							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ競技団体登録児童生徒

手段（事務事業の内容、やり方）

全国大会で、優秀な成績記録を収めた高校生以下の児童・生徒・・・スポーツ賞
 全道大会で1位の成績記録を収めた高校生以下の児童・生徒・・・スポーツ奨励賞
 全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた小中学生・・・教育委員会表彰
 ただし、同等又は上位の表彰を受けた場合は同等又は下位の賞を受けられない。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,256	1,185	1,101	1,101
対象指標2						
活動指標1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	受賞者数	人	70	57	51	64
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,269	1,057	1,021	1,158
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	1,174
総事業費(A+B)		千円	2,473	2,259	2,193	2,332

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰した。	・表彰楯作成費 845千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
政策として制度化された。
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 → スポーツ大会で顕著な成績を収めた青少年を表彰することで、青少年の競技スポーツの振興を図ることができるとともに、その健全育成につながることから、妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 → 継続して成績優秀者を表彰することは、競技スポーツが活性化し、青少年年代における競技人口の拡大につながる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 → 例年、多くの市民が好成績を収め、スポーツ賞を受賞している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 → 児童・生徒が減少傾向にあることから、各種スポーツの競技人口を維持することが難しくなっているが、この表彰を維持・継続することによって、上を目指すといった向上心が生まれれば、さらなる向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 → 表彰盾などの授与物品等が値上がりしている中で、効率的に当事業を運営しており、削減は難しい。また、文化賞と同時に表彰を行っているため、事業内容を変更する場合には調整を行う必要がある。